

作成日		発行
2017. 12. 01 No.269		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

来年の干支

今年も残りわずかとなりましたが、来たる 2018 年の干支「戌」(犬)についてと、その戌年の商売傾向についてお話しさせていただきます。

犬は人類にとって最も親しみやすい動物であり、古くから人間の生活において、かけがえのない存在として活躍してきました。日本では、平安時代に既に犬を飼うブームがあったと考えられているほか、聖徳太子、藤原道長、徳川綱吉など歴史上の人物にも、大の犬好きとして知られる人物が数多く存在します。犬は太古の昔から人類のパートナーであり、良き理解者でもあります。そしてそれは今も変わらず、世界中で多くの人々が、犬に愛をそして勇気を与えられ続けています。

今年の酉年は「商売繁盛・収穫」と言われていましたが、商売傾向としての戌年は「守りの年」と言われています。守ってばかりでは商売にはなりません、アフターフォローやリスクヘッジをすることで既存のお客様を守り、またそれが信頼と商売へと繋がって行きます。桃太郎で言うと、申年、酉年、そして来年の戌年と、鬼退治に向けて仲間が揃います。戌年は、次の年の亥年で突き進む為の準備期間の年のひとつと言えましょう。犬猿の中を酉もって暮れた今年に感謝し、来年の戌年を迎えたいと思います。

当社では、毎年干支ピンブローチを開発販売していますが、私達にとって最も身近な動物である犬を、新しい仲間と共にご案内します。年末年始商戦に向けて、是非ご活用ください！(M.U)

開運 干支ピンブローチ「戌」人気シリーズ (他にも多数あります)



B4774

B5299

B5346

B5535

B5546

可愛い!! 新しい仲間の秋田犬と豆柴



B6288

B6289

こたつ

昔は冬といえば“こたつでみかん”が定番でしたが、近年は、他の暖房器具の性能の向上や、部屋の雰囲気合わないなどの理由から、こたつのない家も多くなったのではないのでしょうか。

しかし、今「こたつ」が見直されブームになっています。この4年間で売り上げが6割増えているそうです。飲食店では、こたつを売りにした居酒屋や、こたつテラスが登場したりと、若者を中心に人気となっています。

こたつの利点として挙げられるのが、省エネ効果です。部屋全体を暖める暖房に比べて、こたつの布団の中だけを効率的に暖めるので、省エネ効果に優れています。また、最近はいろいろなこたつの形が見いだされ、今の生活に合った多種多様のこたつが出てきているのも人気の要因となっています。11月に発売された、お一人様用こたつは、即日完売となったそうです。

皆さんも、今年の冬は、こたつに注目してみてもいかがでしょうか。(H.A)



年賀状

年賀状の始まりは、平安時代に貴族によるものと言われています。同時に平安時代頃からは、年の初めにお世話になった人や、親戚の家をまわって挨拶をする「年始回り」の習慣も広まりました。これは大正時代頃まで行われ、正月は挨拶の行き来する人で、通りが混雑するほどだったそうです。江戸時代になると、書状で挨拶を済ませることも増え、庶民の間でも広まりました。明治時代になり、郵政制度の開始や郵便はがきの発行などにより、簡潔に安価で書き送れるということで、ハガキで年賀状を送るという習慣が、急速に広まっていったそうです。

最近では、メールやLINE、SNSなどで新年の挨拶を済ませる人も増えてきましたが、アンケートによると、やはり多くの方は年賀状をもらって嬉しと感じているそうです。パソコンやスマートフォンで簡単手軽にデザインできるアプリも増えていきましたので、自分らしさを出した年賀状を送って喜んでもらいたいですね。(H.A)